



【戦評シート】

平成 16 年 5 月 2 日 (日)	協会名： 能代市 バスケットボール協会				
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 石井 佑生				
チームA 松江東高校 5 6	{ <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>2 2 - 2 4</td></tr> <tr><td>9 - 2 6</td></tr> <tr><td>8 - 2 1</td></tr> <tr><td>1 7 - 2 8</td></tr> </table> } 9 9 チームB 能代工業高校	2 2 - 2 4	9 - 2 6	8 - 2 1	1 7 - 2 8
2 2 - 2 4					
9 - 2 6					
8 - 2 1					
1 7 - 2 8					

スターター	チームA： ④安部、⑥佐藤、⑦青砥、⑨林、⑬永田 チームB： ④宮城、⑤二田、⑥信平、⑦梁川、⑧齊藤
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン (ハーフ) <input type="checkbox"/> その他 () チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン (オールコート2-2-1) <input type="checkbox"/> その他 ()

第1Qは、松江東は、ハーフのマンツーマン DF、能代工は伝統のオールコートゾーンプレス DF。松江東はガード陣が能代工 #4 宮城に対し、厳しくマークし、ボールを遠くで持たせるようプレッシャーをかける。しかし、それでも能代工は #4 宮城からのプレーで #5 二田のゴール下合わせ、速攻、#6 信平の速攻などで得点する。松江東は #4 安部のドライブ #7 青砥のジャンプシュート、交代で入った #17 中林の3Pで得点し、互角の展開。

第2Q は能代工ペース。#8 齊藤のジャンプシュート、ドライブ、3P #7 梁川の速攻、1on1、ドライブ、#11 畑澤のジャンプシュート、フックシュートそして #10 梅津のアリウープ気味のタップシュート。前半は 31-50 で能代工リード。

第3Qは、出だしから能代工がハイペースで得点を重ねていく。#8の3本の3P、#13 下山のアシストから #10 ゴール下、リバウンドショット。松江東はイーゲームミスが多く、得点に結びつかず苦しい展開。そのミスを能代工は見のがさない。結局 39-71 で第 3Q 終了。

第 4Q は、能代工はセカンドメンバーで余裕の展開。#9 金谷、#10 梅津、#12 西山、#13 下山、#15 遠藤でスタートし最後は1・2年生で頑張る。松江東も喰らいついでいこうと必死だが逆に突き放される。最後まで走り通した能代工がオープニングゲームを能代工らしい形で勝利した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。